

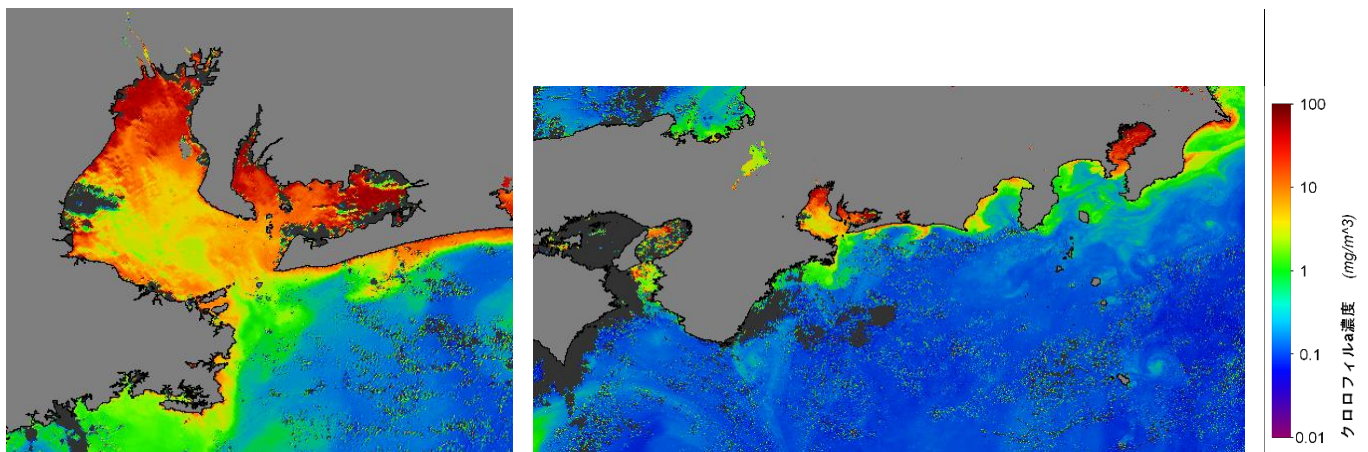
令和元年 8 月 8 日

8 月 7 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、伊勢・三河湾では 7 月 23 日と比べて、クロロフィル a 濃度は全体的に低くなりましたが、湾奥は依然として高い値を示しています。渥美外海は極沿岸域を除き、黒潮系暖水の影響で低くなっています。

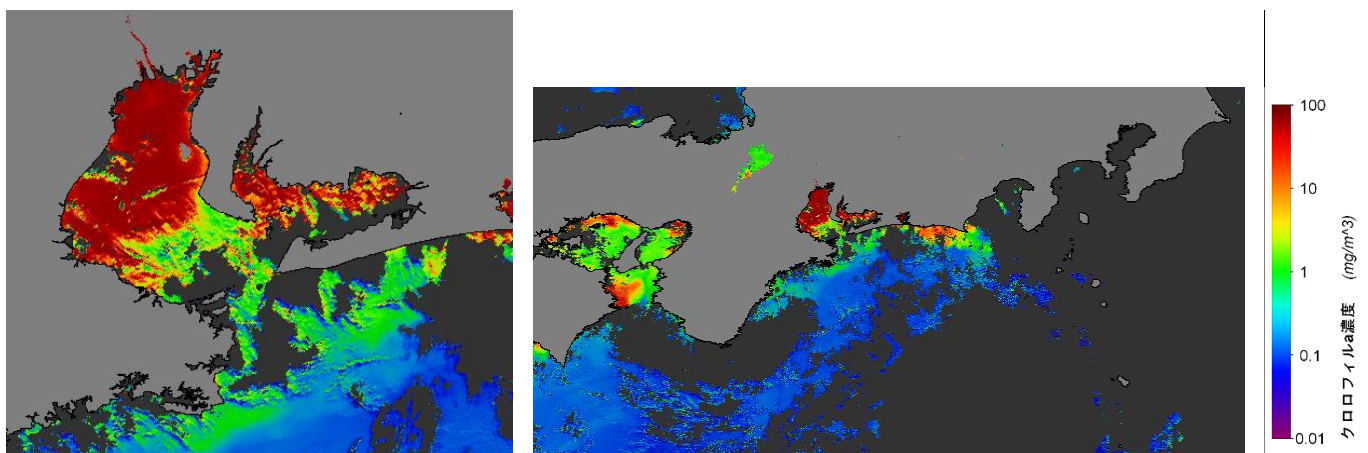
クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、7 月下旬の梅雨明け以降、降雨がないため、伊勢・三河湾、湾口域、渥美沿岸・中間は 7 月末をピークに減少傾向となっています。渥美沖合は 6 月以降多少の変動がありますが、ほぼ横ばいです。

（宇宙航空研究開発機構（JAXA）提供の SGLI 画像）

しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（8 月 7 日）



しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（7 月 23 日）

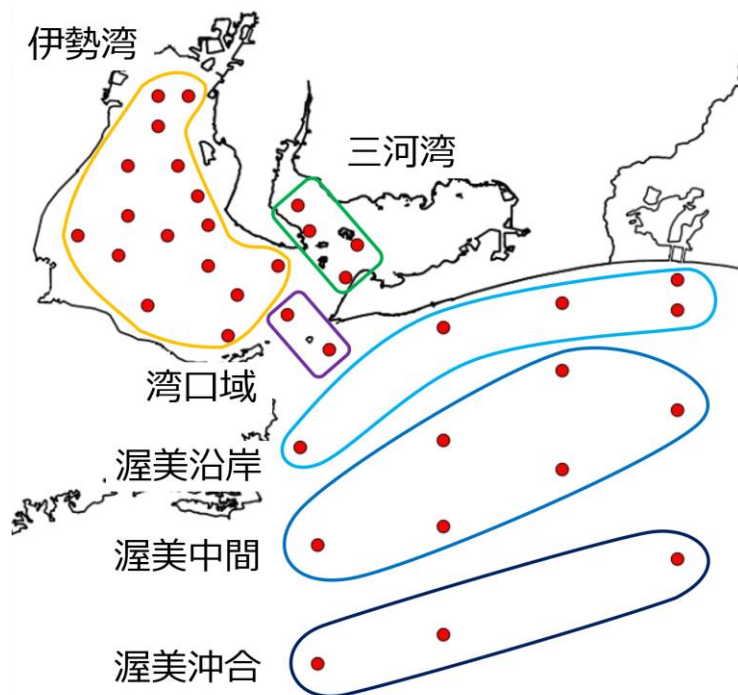
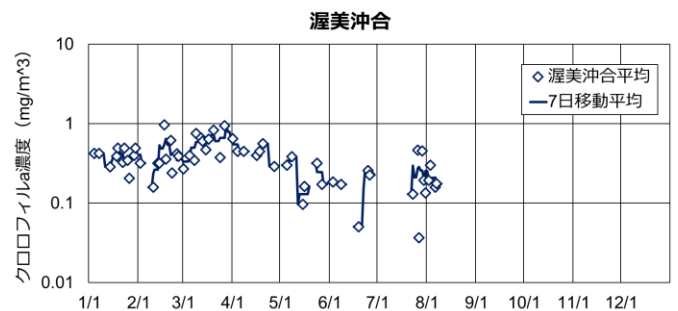
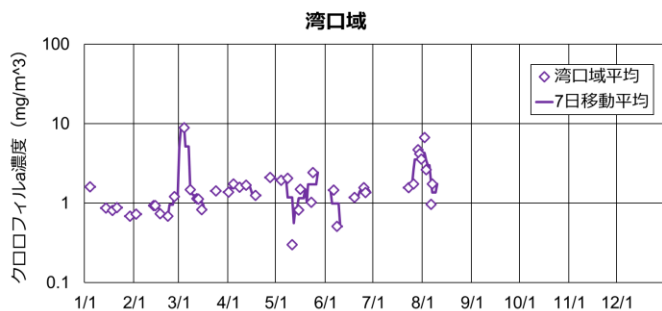
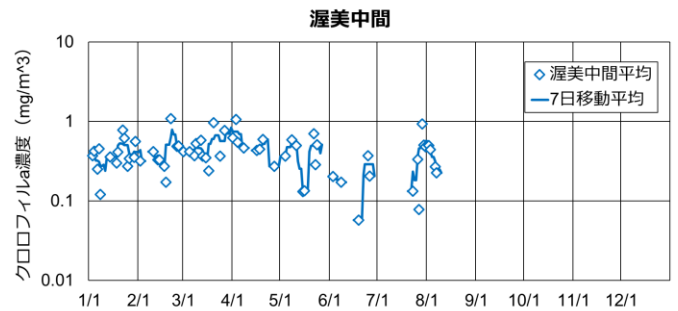
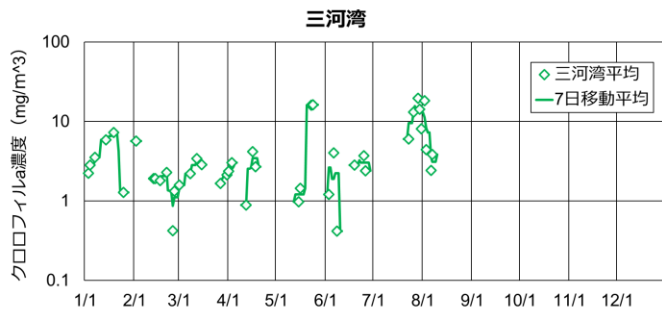
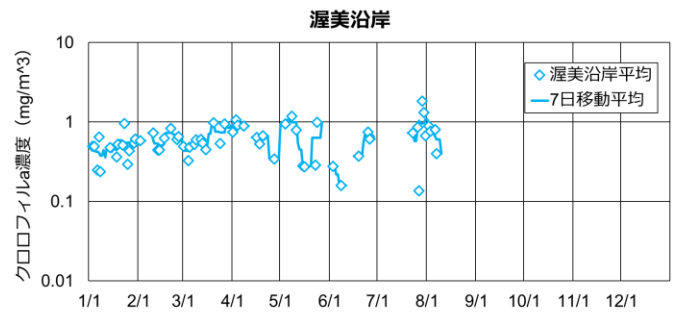
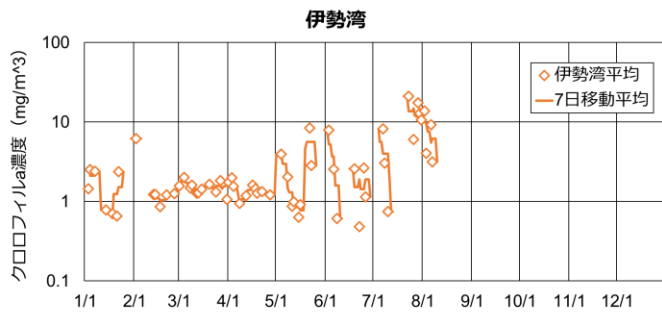


※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

観測衛星「しきさい」に搭載された SGLI センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。（令和元年 8 月 7 日までのデータ）



モニタリング地点